

リニューアルした大山町ふるさと学習教材

『わたしたちの大山町(小学校3・4年版)』を授業で活用しています！

町内小学校3・4年生が、社会科や理科、総合的な学習の時間に活用している『わたしたちの大山町』について、リニューアルしたことを5月号でお伝えしました。この教材で児童は、QRコードから町内の風景や働いている人々の様子、インタビュー動画をみることができます。今回は、本書を活用した授業の様子をご紹介します。



▲リニューアルした『わたしたちの大山町』

ブロッコリーづくり

9月15日、大山小学校の総合的な学習の時間に、3年生がブロッコリーの苗植えをしました。JA鳥取



▲苗植えの様子

西部大山宮農センターの高見哲也さんと高見一真さん、地元の遠藤毅さんにゲストに来ていただき、一本一本丁寧に苗を植えました。

QRコードを使った動画視聴

まとめの学習では、ブロッコリーのページに記載されているQRコードをタブレットで読み取って、全員で動画を視聴しました。ブロッコリーが育っていく様子、工夫や苦労について、農家さんのインタビュー動画を視聴しながら、学習を深めることができました。



▲まとめの学習

教科書を読むだけでは分からない地元の農家さんの工夫や苦労を実感することができました。



▲ブロッコリー農家さんのインタビュー動画

スーパーマーケットで働く人々

中山小学校の3年生は、社会科の学習で、エムマートに見学に行きました。事前に「スーパーマーケット」の内容を学習しました。本書には、見学先のエムマートで働いている人が載っており、児童は、お店や店員さんをイメージしながら、質問したいことや、調べたいことなどをまとめることができました。



▲『わたしたちの大山町』を使った授業風景

大山町教育委員会は、「大山の恵みを受けて生き生き輝く人づくり」を基本理念とし、これからも様々な機会を通してふるさと学習を推進していきます。

